

提案書評価基準シート

評価項目		採点 a	加重 評価 b	配点 a×b	評価基準
Ⅰ 全般	1 基本的認識	5	2	10	○施設の目的、課題および業務全体の内容を十分に踏まえた企画提案か。 ○積雪寒冷の地域特性など、札幌市の特徴を考慮した提案か。
	2 業務遂行管理体制	5	6	30	○業務を円滑かつ確実に進めることができる組織体制となっているか。 ○防火・防災に関する専門知識を有した人員の確保(雇用形態など)および人員配置となっているか。
	3 類似業務の実績	5	2	10	○類似する業務を良好に手掛けた実績があるか。
Ⅱ 施設 管理 業務	4 施設運営の計画性・安定性	5	4	20	○業務計画は、サービスを安定的に提供できる具体性と実現可能性があるか。
	5 安全管理体制	5	2	10	○開館中の非常時等に適切に対応できる体制となっているか。 ○適切な感染防止対策がとられているか。
Ⅲ 施設 案内 業務	6 防火・防災のガイダンス能力	5	8	40	○防火・防災に関する技術力や習熟度などの専門性は十分か。 ○防火・防災の知識やスキルを、子どもから大人まで幅広い年齢層に合わせて、分かりやすく伝える工夫は十分か。 ○来館者対応に必要な接遇スキルおよびコミュニケーション能力は十分か。 ○業務に必要な知識や技能および接遇などを習得するための人材育成の取組みは十分か。
	7 施設の広報・広聴活動	5	2	10	○ホームページやSNS(XおよびInstagram)などを活用した広報内容が提案されているか。 ○「来館者の声」やアンケート結果を基にした、サービス向上につなげる工夫があるか。
Ⅳ 施設 活 性 化 業 務	8 施設運営の方向性1 〔防火・防災を楽しく学べる場の創出〕	5	4	20	○「防火・防災を楽しく学べる場の創出」を実現する提案があるか。 ○来館につながる施設外でのPR活動や普及活動の要素を取り入れた提案や工夫があるか。
	9 施設運営の方向性2 〔災害対策の自分ごと化と実践の促進〕	5	4	20	○「災害対策の自分ごと化と実践の促進」を実現する提案があるか。 ○防火・防災を自分ごととして感じてもらえるように、共感性や説得力をもって伝えるとともに、市民が主体的に行動できる力を育めるような対話を取り入れた提案や工夫があるか。
	10 施設運営の方向性3 〔防火・防災情報へのアテンド〕	5	4	20	○「防火・防災情報へのアテンド」を実現する提案があるか。 ○社会的影響がある災害が起こった時など、機を捉えたタイムリーな防火・防災に関する情報発信をするための提案や工夫があるか。
Ⅴ 独 自 提 案	11 独自提案	5	2	10	○本業務の成果をより効果的なものにする独自提案や工夫があるか。
評価点(委員一人あたりの配点合計)				200	

※採点aは次の評価により採点します。「5点(非常に優秀)」「4点(優秀)」「3点(普通)」「2点(やや不十分)」「1点(不十分)」